

花ちゃん・オー君・モンタ博士のかくかくドドド立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成28年11月24日 NO.71 (371)



座間谷戸山公園

花ちゃん 「きれいな紅葉ですね。」

モンタ博士 「いいだろう。これは、^{てんらんかい} 展覧会の次の日に、^{つぎ} てくてくしてきた^{しゃしん} 写真だよ。」

オー君 「^{こうよう} 紅葉もきれいだけど、^{くも} 雲もきれいだな。」

モンタ博士 「うれしいね。今日は^{きょう} 雲のお話^{はなし} をしようと思ってね、この^{しゃしん} 写真をのせたんだ。」

花ちゃん 「ところで、モンタ博士！空に浮かぶ^{くも} 雲って、どんな雲あるのですか。」

モンタ博士 「うれしいね、いい質問だね。この前の『^{まへ} 国立てくてく4』で雲の正体^{しょうたい} がわかったから、次は^{つぎ} 雲の名前調べ、^{くも} 雲の分類^{ぶんるい} にチャレンジしよう。」

花ちゃん 「そもそも、^{くも} 雲ってどのくらいの種類^{しゅるい} があるのですか。」

モンタ博士 「雲はね、^{くも} 植物^{しよくぶつ} や昆虫^{こんちゅう} みたいにたくさんの種類^{しゅるい} はなくて、とても少ないんだ。

雲は、いろいろな高さ^{たか} や形^{かたち} から、大きく10種類^{しゅるい} に分けられているのさ。」

オー君 「へえー。10種類^{しゅるい}。少ないですね。すぐに覚えられますね。これから雲^{くも} を見つけたら、何^{なん} という雲^{くも} かいろいろと調べてみます。」

モンタ博士 「それはえらいね。感心^{かんしん} だね。それでは、予習^{よしゅう} のためにモンタ博士^{くも} が雲について右^{みぎ} にまとめたので、それを見る^み といいよ。」

| くも なまえ 雲の名前 | ただ くも なまえ 正しい雲の名前 | くも てんき 雲のとくちょう・お天気のような | くも たかさ 雲のできる高さ |
|----------------|----------------------|--|------------------------------------|
| すじぐも | けんうん 巻雲 | とてもきれいな雲で、秋を代表する雲。ハケでうすくはいたように、すじのある雲。 | たか ところ 高い 所 |
| うろこぐも | けんせきうん 巻積雲 | とても美しい雲で、春や秋によく見られる雲。この雲がでると天気が下り坂になる。 | たか ところ 高い 所 |
| うすぐも | けんそううん 巻層雲 | 空が何となく白っぽくなり、太陽や月のまわりが輪になる雲。天気は確実に下り坂。 | たか ところ 高い 所 |
| おぼろぐも | こうそううん 高層雲 | 空一面がうすい灰色をした地味な雲。巻層雲ににているが、太陽や月のまわり輪はできない。 | ちゅう ところ 中 くらいの 所 |
| ひっじぐも | こうせきうん 高積雲 | 秋に美しく見える雲で変化があり、見ていて楽しい雲、朝夕などこの雲があると美しい。 | ちゅう ところ 中 くらいの 所 |
| あまぐも | らんそううん 乱層雲 | あつい不気味で黒っぽい雲で、気持ちまでおちこみそうな雲、雨や雪をふらせる雲。 | ちゅう ところ 中 くらいの 所 |
| わたぐも | せきうん 積雲 | 雲らしい雲、わた菓子やシュークリームのような形の雲、しばらくよい天気が続く。 | ひく ところ 低い 所 |
| くもりぐも | そうせきうん 層積雲 | くもりの日の雲で、一年中よく見られる雲。あつぽったいかたまりになってる雲。 | ひく ところ 低い 所 |
| きりぐも | そううん 層雲 | 一番低い所にできる雲。山などに白くへばりついていることが多く、手で届きそうな雲。 | ひく ところ 低い 所 |
| にゅうどうぐも | せきらんうん 積乱雲 | もくもくととても高くなり、夏の夕立になる。かみなりや大粒の雨になるので注意する雲。 | ひく ところ から たか ところ 低い 所 から 高い 所 へ |

オー君 「いろいろな名前があるんですね。」

花ちゃん 「『巻』とか『高』とかいう文字がいっぱいで、わからなくなりますね。」

オー君 「『乱』という文字もありますね。」

モンタ博士 「二人ともよく気がついたね。『巻』という文字がつけば高い所、『高』がつけば中くらい、『巻』も『高』もなければ低い所の雲なんだ。それから、『乱』がつけば、雨をふらせる雲ということなんだよ。」

オー君 「なるほど、そうすると覚えやすいですね。ところで、雲は、いつも空に浮いているように見えるのはなぜですか。」

モンタ博士 「ほほー。それはまたいい質問だね。雲をつくる雲つぶは、雨つぶと同じようにゆっくりと下に落ちていくけれど、下から上がってくる空気に押し返されているんだ。」

花ちゃん 「なるほど、そういうことだったのですか。何だか雲が身近なものになった感じがです。これからも、いろいろな雲について自分たちで調べていきます。」